

平成17年度
支笏洞爺二セコルート活動報告
《ウエルカム北海道エリア》

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告(審査委員会)
・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート・ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		★: ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み	
ルート(エリア)運営計画基本方針	ルート(エリア)運営計画活動内容	活動No	平成17年度 地域活動(総括)
景観形成	来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	S W - 1	北海道の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後も継続した取り組みとしていくための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	S W - 2	
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	S W - 3	
	エリアの景観ルールづくり	S W - 4	
	看板や広告物の規制の検討		
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	S W - 5	
	エリアの魅力伝えるイベントなどの開催	S W - 6	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 7	
		S W - 5・7	
		S W - 8	
観光振興	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト〜灯りで繋ぐ雪の道〜)	S W - 8	お勧め景観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシニアネットワークへの参加よびかけを行うなど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時等の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。
	★ルートを対象としたツアー等	S W - 9	
	支笏湖タウンマップの作成		
	旧ユースホテルの保全・活用	S W - 10	
	タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	S W - 11	
	地域ブランド化の検討		
	手づくり品・オリジナルポストカードの制作	S W - 12	
	コミュニティビジネス研究	S W - 13	
	子ども・住民向け文化事業の推進	S W - 14	
	各研修会などの開催	S W - 15	
地域づくり	★ルートを対象としたツアー等	S W - 9	各地域ごとに、歴史、自然など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、次年度スタートするトレジャーハンティングと運動するなど、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる子どもへの教育を視野にいれた活動を進める。
	支笏湖タウンマップの作成		
	旧ユースホテルの保全・活用	S W - 10	
	タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	S W - 11	
	地域ブランド化の検討		
	手づくり品・オリジナルポストカードの制作	S W - 12	
	コミュニティビジネス研究	S W - 13	
	子ども・住民向け文化事業の推進	S W - 14	
	各研修会などの開催	S W - 15	
	タウンミーティングの開催	S W - 15	

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
 ・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート・ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 泉谷清		報告年月:2006/3/31		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み						
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動実施日	成果及び課題	総括
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討		集中活動月間情報拠点の設置	集中活動月間中 エにわにわニックアップ プロジェクト /支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	今年度は、集中活動月間において、えにわ市民情報サロン、支笏湖ユースホステルを各情報拠点とし情報紙の配布等を実施。次年以降、エリアとしてのインフォメーションシステムについて検討を行う。	北海道の玄関口として、おもてなしの心をもちた植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もなっており、今後も継続した取り組みとしていくための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
	エリアマップの作成	S W - 1	支笏洞爺ニセコを巡る見て・食べて・遊ぶドライブマップ	9月集中活動月間 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議	・9月集中活動月間の地域活動と連動し、支笏洞爺ニセコルート内のおすすり景観ポイント・イベント・ドライブコースを掲載したドライブマップを発行。情報拠点や道の駅等で配布。	
	支笏湖の湖面利用に関する規制		支笏湖の湖面利用に関する規制の検討	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	・平成18年度より、支笏湖内における動力船舶の運転が全面禁止となる。	
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進		各集中活動月間情報紙への情報提供等	えにわにわニックアップ プロジェクト /支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	・集中活動情報紙掲載のお勧め景観として、白瀬の滝、水明渓谷、支笏湖南側から見た景色等、水辺の眺望ポイントについて情報を提供。秋には、ルートを巡るドライブマップで、茂漁川やオオコタンベ湖を紹介した他、エリア内のハイス・アールにおいて、水辺のお勧め景観を立ち寄りポイントした。次年度以降、これらの情報の収集・整理を進めていく。	
景観形成	河川や湖面、沿道の清掃	S W - 2	453(白コサン)530(ゴミゼロ)キャンペーンin支笏湖[春・秋]	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	・国道453号において春・秋2回の清掃活動を実施。昨年より継続し、秋には小学校と活動日をあわせるなど、参加者の顔ぶれも定着しつつあり、キャンペーンのもと地域で取り組む清掃活動となってきた。また、ボランティア・サポート・プログラムでも参加。今後は、参加者の安全確保、エリア・ルートでの連携をはかったPR等が課題。	
	みどりのマイルストーン(道標)の整備		* 植栽活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。	えにわにわニックアップ プロジェクト	・植栽活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。今後、中長期的な取り組みとして、道標の考え、ふさわしい場所、仕様等の検討を行う。	
	ウエルカムゲートの整備促進	S W - 3	恵庭公園線ウエルカム花ロード	えにわにわニックアップ プロジェクト	・道恵庭公園線のインターチェンジ付近から市街地に向け、約900メートルの植栽を実施。ウエルカムフラワーロードとした。活動団体、恵庭市、土木現業所協働の取り組みであり今後も継続・拡大方向で進める。	
	花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	S W - 4	千歳からほほまる北海道 エアポート花ロード3GVer.3	社団法人 千歳青年会 講師	・新千歳空港へのアクセス道路である国道36号を、北海道の玄関口としてふさわしいおもてなしをしようとする道植栽を実施。旅行期間より、今年で3回目の取り組みとなり、市内小学校9校の他、千歳市、千歳フラワーマスターの会、花俱樂部など約600名が参加。多年草である桜の植栽、ベルギーマムのプランターを設置。子どもたちへの、シーニックハイウェイの周知にも繋がった。	
エリアの景観ルールづくり			札幌開発建設部主催「住民参加の現道景観診断」に参加	10月14日(金)	・平成以降、取り組みを継続していくため、市民・行政・企業・学校・道路管理者などの連携や維持管理の仕組みの検討が必要。	
看板や広告物の規制の検討			えにわにわニックアップ プロジェクト /支笏湖まちづくり機構 NEOステージ		・札幌開発建設部主催の国道36号、恵庭ハイパス～千歳市街地景観診断に参加。景観診断実施後、診断内容や望ましい景観のあり方について参加者ご意見交換会を実施。	

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり		平成17年度の活動内容 ファームイン・体験農園を行っている方へのツアー 食をテーマとしたシンポジウムの開催 えにわいよいよとどりツアー(花ツアー・紅葉ツアー) エリア企業との連携による魅力づくり サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	えにわシーニックプロジェクト えにわシーニックプロジェクト	平成17年度 9月23日(金) 7月9日(土) 10月8日(土)	・エリア内でファームイン、及び体験農場等を営んでいる方へのシーニック活動PR、情報交換等を実施。次年度以降も、交流を続け、試行的に活動に参加いただくなど、連携に向けた取り組みを行う。 ・今年度は、食をテーマとした、シンポジウムを開催。次年度以降、引き続き、取り組みを進める。 ・恵庭市内の旅行代理店と連携し、恵庭の魅力を感じる周遊ツアーを実施。 ・紅葉ツアーでは、試験的に恵庭観光協会と共催。回を重ねるごとに参加申込み者が増加、リピーターもみられる。 ・バスの発着場所、料金設定の見直し、など収益性も含め、ニーズに併せた内容を検討する必要がある。	おため観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後魅力のなみニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシーニック活動への参加を呼びかけを行うなど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。
	エリアの魅力伝えるイベントなどの開催	S W - 5	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	7月9日(土) 12月21日～23日(水～金)	・支笏湖において、エリアの魅力伝える取り組みとして、夏に「サンセットコンサート」、冬に「クリスマスイベント」を実施。 ・サンセットコンサートは、天候に左右されるという難点はあるが、美しい景観と音楽は相性が良く、今後も継続予定。クリスマスイベントについては、主に地域住民に向けた実施。 ・今後は、地域住民が楽しむことも含め、集客に向けた効果的な広報の実施が課題	支笏湖周辺のおため観ポイントを巡るシャトルバスを運行。活動団体や地元住民がガイドとなり、地元ならではの地域情報を提供するにとともに、朝昼の2便を運行し、山盛りや湯巡りなど各地への滞在を可能とした。 ・全体的に、乗客の満足度は高かったが、地域での消費活動は増加せず、今後は、地域にお金が落ちる仕組みを検討するとともに、将来的な足の確保も含め、地域ガイドの確保、バス運行費用の確保が課題となる。
	観光コミュニティバスの実験運行	S W - 6	支笏湖シーニックシャトルバス	えにわシーニックプロジェクト	9月 5.6.7.14.15.16.17 、19. 20. 21. 22 (1日2便)	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、恵庭、支笏湖それぞれ周遊バスを運行。資金や地元ガイドの確保、育成など、共通の課題があり、今後、情報交換を行い、活動のステップアップを図りたい。(合同で、ガイド養成ツアーなど)、シーニックドライブルートの恵庭岳公園線は、自動車以外の交通手段がなく、今後、恵庭岳公園線から支笏湖を巡るバスツアーなどを連携して試みることも考えられる。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 7	* 支援センターHPへの情報提供及び、コミュニティメールへの投稿こととまり、ホームページの更新は滞った。	えにわシーニックプロジェクト	平成17年度	・集中活動月間において恵庭、支笏湖それぞれ周遊バスを運行。資金や地元ガイドの確保、育成など、共通の課題があり、今後、情報交換を行い、活動のステップアップを図りたい。(合同で、ガイド養成ツアーなど)、シーニックドライブルートの恵庭岳公園線は、自動車以外の交通手段がなく、今後、恵庭岳公園線から支笏湖を巡るバスツアーなどを連携して試みることも考えられる。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 8	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンポドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	支笏湖 雪あかりの散歩道 キャンポドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～	6月集中活動月間 9月集中活動月間	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 9	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	外国人観光客モニターツアー	1月28日～2月19日(土・日・祝祭日に開催)	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 7	エリア内で2つの周遊バスツアーを実施	えにわシーニックプロジェクト	6月集中活動月間 9月集中活動月間	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 8	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンポドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	支笏湖 雪あかりの散歩道 キャンポドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～	1月28日～2月19日(土・日・祝祭日に開催)	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	S W - 9	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	外国人観光客モニターツアー	2月15日(水)	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシーニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	支笏湖において、洞爺、ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに併せ、ルート・メニューを提案、試行を行う。

報告年 月: 2006/3/31

報告者: ウェルカム北海道エリア 代表 泉谷清

★: ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
 ・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		報告者:札幌開発建設部			報告年月:2006/3/31	
基本方針	平成17年度の活動内容	実施機関	活動実施日	成果及び課題	総括	
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進 花とみどりによる四季の感じられる景観形成 エリアの景観ルールづくり 看板や広告物の規制の検討 周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催 エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・恵庭ハイパスPR看板の老朽化に伴い、PR看板をウエルカム北海道エリアのPR看板へ変更。 ・シーニックルート上の景観向上事業として防護柵などの形状・色彩の改善、統一を実施。 ・道庁東庭岳公園緑地センターチェンジ付近において、活動団体、恵庭市、北海道が協働し(ふれあいのまちクリーン事業)を実施。 ・453(ヨコサウ)530(ヨミセロ)キャンペーン支笏湖において、清掃活動中電光掲示板にて活動のPRを実施。 ・秋は、ボランティア・サポータープログラムで連携。 ・自然公園における景観改善の取り組みとして、「自然公園における道路付属物の色彩」検討懇談会を実施。 ・国道36号線において、千歳からほしまる北海道工アポート花ロード36(ver.3)を協働事業として実施。事前準備の他、当日の植栽作業、安全確保等を行った。 ・シーニックハイウェイエールートの一部である国道36号線、恵庭ハイパス～千歳市街地において住民参加による景観診断を実施。景観診断実施後、診断内容や美しい景観のあり方について参加者と意見交換会を実施。 ・道と川の駅「花ロード恵庭」のオープンに向け、各種検討を重ねた。 ・エリア内で活動団体が実施するイベントについて記者発表など、活動のPRを行った。また、シーニックハイウェイ支笏・洞爺・ニセコルートを繋ぐイベント「キャンデルナイト～灯かりで繋ぐ雪の道～」を後援。	・札幌開発建設部千歳道路事務所 ・札幌開発建設部 ・えいわシーニックプロジェクト ・恵庭市 ・北海道札幌土木現業所千歳出張所 ・自然公園財団支笏湖支部 ・千歳市 ・札幌開発建設部 ・札幌開発建設部 ・千歳市 ・札幌開発建設部 ・恵庭市、千歳市地域住民 ・恵庭市役所 ・千歳市役所 ・札幌開発建設部 ・恵庭市 ・札幌開発建設部	平成17年度 平成17年度 6月4日(土) 5月30日(月) 9月30日(金) 平成17年度 9月21日(土) 10月14日(金)	【国道276号】 ・冬:笹橋、美笹橋の形状・色彩の改善、統一等 【国道453号】 ・欄干:欄干の形状・色彩の改善、統一等 ・道路情報板:形状・色彩の改善、統一等		
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・道庁東庭岳公園緑地センターチェンジ付近において、活動団体、恵庭市、北海道が協働し(ふれあいのまちクリーン事業)を実施。				
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・国道36号線において、千歳からほしまる北海道工アポート花ロード36(ver.3)を協働事業として実施。事前準備の他、当日の植栽作業、安全確保等を行った。				
	エリアの景観ルールづくり	・シーニックハイウェイエールートの一部である国道36号線、恵庭ハイパス～千歳市街地において住民参加による景観診断を実施。景観診断実施後、診断内容や美しい景観のあり方について参加者と意見交換会を実施。				
	看板や広告物の規制の検討	・道と川の駅「花ロード恵庭」のオープンに向け、各種検討を重ねた。				
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	・エリア内で活動団体が実施するイベントについて記者発表など、活動のPRを行った。また、シーニックハイウェイ支笏・洞爺・ニセコルートを繋ぐイベント「キャンデルナイト～灯かりで繋ぐ雪の道～」を後援。				
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	・集中活動月間において、支援センター発行の情報紙を管内道の駅等に配布した他、ホームページ等を活用し、エリア内の活動等情報発信を行う。				
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信					

地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	<ul style="list-style-type: none"> ・支笏洞爺ニセコを巡る島で・食べて・遊ぶドライブマップ「地域再発見クイズラリー」(として、景観・地域資源の保全活用に関する意識調査を実施。 	・札幌開発建設部	9月集中活動月間	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を巡るバスツアー等、活動団体の取り組みについて記者発表等のPRを行う。 	・札幌開発建設部	6月・9月・冬期集中活動月間	
	交流と連携による地域づくりの推進	「まちの魅力をさぐる！！シーニックシンポジウムin 恵庭」の開催を後援	恵庭市 札幌開発建設部	9月23日(金)	
		恵庭・花とくらし展において、シーニックコンサート出演料を助成	恵庭市	6月25日(土)・26日(日)	

3. 地域及び行政の運営に関する報告
 ・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカムム北海道エリア)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウエルカムム北海道)		報告年月: 2006/3/31												
		報告者: ウエルカムム北海道エリア代表 泉谷 清												
基本方針	スケジュー ル調整な ど	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	エリア運営 (事務局体制)			6月集中活動月間 準備・調整・実施			9月集中活動月間 準備・調整・実施					冬期集中活動 準備・調整・実施		
	代表者会議 (全体)				7月1日 (全体)				11月13日 (全道ミーティング 参加)				3月16日 (全体)	
	(個別)				7月28日/8月9日						1月19・20・30日		3月7・8・10日	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート		報告年月: 2006/3/20												
		報告者: 札幌開発建設部												
基本方針	行政連絡会議の 実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の 実施					行政連絡会議 準備 ヒアリング						行政連絡会議 ヒアリング	3月16日 行政連絡会議担 当者名簿配布	仮)ウエルカムム北海道 信として、行政向け ニュースレター(メール) を配信
	集中活動月間			6月集中活動月間			9月集中活動月間					2月集中活動月		

4. 審査委員会意見に関する報告
 ・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		報告者:ウエルカム北海道エリア代表 泉谷 清 / 札幌開発建設部		報告年月:2006/3/31	
		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考	
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニケーションの創出	・道恵庭岳公園線、国道36号線において植栽活動(恵庭岳公園線植えるかむフラワーロード、千歳からはじまる北海道エリアポート花ロード36.ver3)を実施したほか、国道453号で春・秋の清掃活動(530・453(ミゼロ・ヨサリ)キャンペーン)を実施。 ・また、コミュニティビジネス創出へ向け、恵庭、支笏湖それぞれで、お勧め景観ポイントなど地域資源を巡るバスツアー及び、周遊バスの試験運行を実施。	・恵庭岳公園線植えるかむフラワーロードを協働実施。(恵庭市、札幌市、木現業所千歳出張所) ・千歳からはじまる北海道エリアポート花ロード36.ver3を千歳市、札幌開発建設部が共催 ・国道453号において春・秋の清掃活動(454キャンペーン)を支援		
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	・清掃・植栽活動は3回目を向かえており、継続した事業実施に向け取り組みを進めている。今後、活動や成果に対するアドバイザーの確保が重要と考えられる。	・活動団体の取り組みに対する相談窓口として、関連する各行政機関担当者名簿を作成し、各活動団体に配布。今後も、担当者の変更があれば、更新し再配布するとともに、行政向けに活動団体の取り組みや、シーニックバイウェイ情報を提供する版)ウエルカムエリア通信を配信。		
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいもの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	・冬期集中活動の取り組みにおいて、支笏湖では、東海大学学生とのコラボレーションによる「支笏湖雪灯りの散歩道」の他、ルートが連携した「キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～」を恵庭では、「1えにわスノーフェスタ2006」をそれぞれで、今年、新たに企画・実施。	・冬期集中活動の取り組みにおいて、ルートが連携した「キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～」を後援。記者発表など、活動のPRを行った。		
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	・支笏湖シーニックシャトルバス、恵庭いんどこりツアーでは、活動団体が地域ガイドとして乗車。継続に向け、魅力ある地域ガイドの確保が課題となっており、今後、取り組みを進める。			
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	・支笏湖において、洞爺ニセコエリアと連携した海外旅行者モニターツアーを実施。 (受け入れに伴う、ルート・メニューを提案、試行) ・地域の旅行業者と連携し、恵庭いんどこりツアー(hana・紅葉ツアー)を実施。	・エリア内のレンタカー等へ集中活動日間紙を配布するとともに、記者発表など、ホームページを活用した情報発信を実施。 ・海外観光客の利用も考慮した情報発信のあり方に関する調査検討を実施。		
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シーニックバイウェイ北海道活動団体以外の地域の方々や連携した取り組みを実施。	・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シーニックバイウェイ北海道活動団体以外の自治体や、関連行政機関と連携した取り組みを実施。		
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史、文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	・国有林内の産業遺産学として、恵庭森林鉄道の歴史を歩いてみるなど、地域の隠れた魅力を発見する活動を実施。今後は、全道で展開していくトレジャーハントなどとあわせ、地域の歴史・文化を活かした新たな魅力づくりを進めていく。			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		報告者:ウエルカム北海道エリア代表 泉谷 清 / 札幌開発建設部		報告年月:2006/3/31	
		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告		支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	
今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	支笏洞爺ニセコルートが連携し、「支笏洞爺ニセコを巡る 見る、食べる、遊ぶ、ドライブマップ」「キャンデルナイト ～ 灯りで繋ぐ雪の道～」海外旅行者モニターツアー」を実施。次年度以降は、実行委員会等の組織を立ち上げ実行予定。	「キャンデルナイト ～ 灯りで繋ぐ雪の道～」を後援。「支笏洞爺ニセコを巡る 見る、食べる、遊ぶ、ドライブマップ」では、景観・地域資源の保全活用に関する意識調査を実施。「海外旅行者モニターツアー」では、海外旅行者のニーズ調査を実施。			
地域住民、旅行者が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	恵庭岳公園線における「植えるかも、フラワーロード」、「ウエルカム」の気持ちからあわす、「千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36」など、「ウエルカム」という言葉がエリアのキーワードになりつつある。				
ウエルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要がある。	千歳からはじまる北海道エアポート花ロードでは、500名以上の小学生が植栽に参加。小学生に対するシーニックハイウェイ(景観づくり)の周知を実施。	市街地部の景観改善方策のあり方について、各主体間の共通認識を図るため、国道36号線、恵庭バイパス～千歳市街地について住民参加による現道景観診断を実施。			
「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	9月集中活動月間において、えいわシーニックプロジェクトが主催し、地域の食と環境について考える「まちの魅力をさぐり！シーニックシンポジウム」を開催。また、活動団体お勤めの地産地消のレストランを推薦、エコドライブ運動に参加。	恵庭市、札幌開発建設部、札幌土木現業所千歳出張所が「まちの魅力をさぐり！シーニックシンポジウム」を後援。			

SW-1

支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックハイウェイ北海道 支笏洞爺二セコルートを巡る
『見て・食べて・遊ぶドライブマップ～秋号～』

【内 容】 9月集中活動月間にあわせ、支笏洞爺二セコルート内のおすすすめ観光ポイント・イベント・ドライブコースを掲載したドライブマップを作成。情報拠点や道の駅等で配布するとともに、ドライブマップを使った「地域再発見クイズラリー」(10月3日～11月7日)を実施。
【配布部数】 7000部 / 【配布場所】 情報拠点や道の駅、オートキャンプ場等【クイズラリー参加者】 70名(10月末日現在)

■ ドライブマップ (地域のカーブスコープ付き)



■ 地域再発見クイズラリー



SW-2

支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453 (ヨゴサン) 530 (ゴミゼロ) キャンペーン』 in 支笏洞

【内 容】 支笏洞温泉～丸山分岐までの国道453号の清掃活動を実施。
5月30日に、ちんぷだゴミゼロ (530) 運動。
【主 催】 特定非営利活動法人 支笏洞まちづくり機構 Neosステージ
【実施日】 5/30 (月) 午前6時～15分
【参加者】 60名



SW-2

支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『秋の453 (ヨゴサン) キャンペーン』

【内 容】 秋の453 (ヨゴサン) キャンペーンとして、支笏洞温泉から丸山分岐までの国道453号の清掃活動を実施。今回は、支笏洞小学校が実施している園地の清掃活動と実施日を合わせ、地域が一体となって清掃活動を実施。
【主 催】 特定非営利活動法人 支笏洞まちづくり機構 Neosステージ
【実施日】 9/30 (月)
【参加者】 40名



SW-3

支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭岳公園緑ウエルカムフラワーロード』

【内 容】 恵庭インターチェンジから市街地に向け、約900メートルの中央分離帯に花の植栽を行い「インターチェンジ見えるカム・花ロード」に。
恵庭市・土木課講師・えにわシーニックプロジェクトの協働事業として実施。
【主 催】 恵庭市役所花とみどりの課 えにわシーニックプロジェクト
【実施日】 6月4日 (土) 午後1時
【参加者】 150名



支笏洞爺二セコルレート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳エアポート花ロード3』

SW-4

【内 容】 新千歳空港へのアクセス道路である国道36号を北の玄関口として盛り上げるよう、道庁と連携して、毎年3回自主活動が実施されている。参加し学ぶ機会がある。互いの種やプランターを交換し、各自が持ち帰った地域への関心も高まり、シニミックプロジェクトにも繋がった。

【主 催】 千歳青年会議所
【実施日】 9/21 (水) 午前9:30
【参加者】 600名



支笏洞爺二セコルレート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭いとこどりツアー〜恵庭の花めぐりHanaツアー〜』

SW-5

【内 容】 シニミックのメンバーがガイドとなり、恵庭市内の花めぐりバスツアーを実施。恵庭市内の観光、ミニとの交流、作り出し体験の他、レストランでのランチや、恵庭の野鳥観察ツアー、タイムス等、恵庭の魅力をPRすることも、今後のツアー充実や事業化へ向け、参加者へアンケート調査を実施。

【主 催】 えにわシニミックプロジェクト
【実施日】 7月9日(日)10時00分〜16時30分 参加料 3500円
【参加者】 38名



支笏洞爺二セコルレート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『えにわの秋めぐり 紅葉ツアー』

SW-5

【内 容】 地元ボランティアガイドが同行し、恵庭市内の別のおすすめ場所をめぐるバスツアーを実施。JR恵庭駅南口で、紅葉スポットのトレッキングや、地産食材を用いた野外ランチ、絵巻紙作り等の体験。恵庭の別の魅力をPRすることにも、今後のツアー充実や事業化へ向け、参加者へアンケート調査を実施。

【主 催】 えにわシニミックプロジェクト 恵庭市観光協会
【実施日】 10/8 (土)
【参加者】 43名



支笏洞爺二セコルレート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

サンセットコンサート・クリスマスイベント

SW-6

支笏洞においてエリアの魅力を伝える取組のひとつとして、夏には「サンセットコンサート」、冬には「クリスマスイベント」を実施。

～サンセットコンサート～
【実施日】 7月9日(土)
【場 所】 支笏洞遊歩道の場
【内 容】 サンセットコンサート、灯籠流し、海上花火大会
【主 催】 支笏洞まちづくり実行委員会
【共 催】 NPO法人 支笏洞まちづくり機構Neoステージ

～クリスマスイベント～
【実施日】 12月21日(水)～23日(金)
【場 所】 赤い三角屋根ユースホステル回廊
21日(水)Bar「しごと」
22日(木)小字玉回廊イベント
23日(金)クリスマスコンサート
【主 催】 NPO法人 支笏洞まちづくり機構Neoステージ



支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『支笏洞爺シーニックシャトルバスの運行』

SW-7

【内 容】 支笏洞爺駅から丸駒温泉、オコタンベ湖、樽前山台目、吾の洞門まで、支笏洞爺周辺を巡るシャトルバスを運行。Nemoメンバーや地元住民がガイドとなり、地元ならではの地域情報を提供することにも、朝昼の2便を運行することで山登りや雪道の案内など各地への滞在を可能とした。

【主 催】 NPO支笏洞爺まちづくり機構Nemoステーション

【実施日】 9月5,6,7,14,15,16,17,19,20,21,22日（1便900、2便1300）*料金は500円

【参加者】 230名



支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

支笏洞 雪あかりの散歩道

SW-8

【内 容】 支笏洞の自然豊かな冬とキャンドルの灯かりが織り成す幻想的なひと時を楽しんでもらおうと、水溜まりにありませ「支笏洞ゆきあかりの散歩道」を開催。東海大学の学生とのコラボレーションが実現したほか、1月28日と2月4日の2日間は、シーニックハイウェイ北海道、支笏洞爺ニセコを繋ぐ「キャンドルライト〜灯で繋ぐ雪の道〜」としてルートが運抵した取り組みを行った。

【実施日】 1月28日（土）～2月19日（日）の土曜、日曜、祝祭日

【主 催】 NPO法人支笏洞爺まちづくり機構Nemoステーション

【協 賛】 支笏洞温泉（商店街支笏洞温泉地）



支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

キャンドルナイト ― 灯りで繋ぐ雪の道 ―

SW-6

【内 容】 シーニックハイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約20,000本の協賛があり、支笏は雪あかりの散歩道を洞爺は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をはじめ、豊茂別荘や倶知安駅、周遊艇のまちなか、中山峠など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが思い思いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

【実施日】 1月28日（土）、2月4日（土）

【主 催】 NPO法人WAOニセコ年輪祭実行委員会、秋田県観光振興会、NPO法人洞爺にぎわいネットワーク

【共 催】 NPO法人支笏洞爺まちづくり機構Nemoステーション、真狩村まちづくり研究会、ニセコ観光振興会、ニセコ観光協議会、NPO法人しらかばリゾート、雪もへつWAO、洞爺ニセコルート観光協会、洞爺WAO



支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『外国人観光客モニターツアー』

SW-9

【目 的】 ①ニセコ地域を訪れる外国人旅行者（主に豪人旅行者）の周遊・レクリエーション活動に対するニーズ把握
②広域周遊観光促進による支笏洞爺ニセコルート全体の魅力向上、集客力の増加
③連携事業によるエリア間の連携強化

【実施日】 支笏洞コース 2月15日（水） 洞爺湖コース 2月22日（火）

【実施主体】 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議（ニセコ年輪祭エリア情報分科会）

【協賛協力】 支笏洞温泉観光センター



支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSI-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SW-9
『外国人観光客モニターツアー』 支笏湖コース

【参加者】オーストラリア人：8名、ロシア人：2名、香港人：2名 **合計12名**

【スケジュール】

- ①12:00 ニセコ出発
- ②13:00 道の駅「オオロスト276」
- ③14:00 支笏湖センター
- ④15:30 支笏湖センター
- ⑤16:40 支笏湖センター
- ⑥17:40 支笏湖センター

(支笏湖センター・アンカー記入)

【参加者の声】ヒアリングスタートより

- ・9こいしは縁を結んだ。次回はもっとゆっくりに選んでほしい。
- ・旭川市街の山並みはこの自然に非常に感動(美意識)した。
- ・道の駅「オオロスト276」で高層ビルから見る景色が良かった。
- ・支笏湖の自然、サウナの温泉、スキー場が楽しかった。
- ・支笏湖の自然、サウナの温泉、スキー場が楽しかった。
- ・支笏湖の自然、サウナの温泉、スキー場が楽しかった。
- ・支笏湖の自然、サウナの温泉、スキー場が楽しかった。













支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSI-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SW-10
『情報拠点 赤い三角屋根～支笏湖ユースホステル旧館』

【内容】 「赤い三角屋根」支笏湖ユースホステル旧館で、地域情報やツーリングハイウェイ情報や宿泊する情報拠点を開設。10月9日には、じつこ湖紅葉祭り会場内に情報拠点を移動。来場者への情報発信を行う。

【主催】 NPO支笏湖まつり機構Neoステーション

【実施日】 9月・10月中旬までの、金・土・日 11:00～15:00










支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSI-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SW-12
『てつくりしよっしん(ネオ)』

【内容】 地元の主婦によるてつくりのクラフト作品や松ぼっくり等のクラフト用素材を販売。手作りのクラフト体験やコーヒー・軽飲み物の販売を実施。

【主催】 NPO支笏湖まつり機構Neoステーション

【実施日】 7月～10月中旬までの月・金・土・日 11時00分～15時00分










支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》
SHIKOTSI-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SW-13
スノーフェスタ2006 スキー場であそぼう

【内容】 第34回を向かえる札幌市民スキー大会にあわせ、親子で楽しめる冬のイベントを開催。札幌の9はらしい冬の景色とかんじを体験する「かんじ探検隊」など、冬と雪を楽しむイベントを実施。札幌市を舞台に、次年度のスノーフェスタ事業への協力を呼びかけた。

【実施日】 3月5日(土) 10:00～14:00 札幌市民スキー場

【共催】 えのけこねこプロジェクト/札幌市教育委員会/札幌スキー連盟/札幌スキー学校/歩くスキークラブ/日赤ハートローレル/鳥取ハイヤー

【後援】 札幌市体育協会/北海道新聞/千歳支局/千歳民報/なりのたスポーツ/ノア・スポーツクラブ/札幌スポーツ












